

都道府県献血推進情報一覧(平成16年12月28日現在)

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業	
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要
1	北海道	献血推進啓発事業	各種広報媒体を使用した啓発活動、北海道赤十字センター等関係機関等と連携した各種啓発活動、啓発資料の作成、配布等	7月	パネル展	パネルを展示するとともにビデオを使用し啓発を行う。	血液製剤使用に係る懇親会	血液製剤の供給状況などを踏まえ、血液製剤適正使用の取組みについて協議を行っている。
				7月	献血イベント	献血協方面体等に対し血液センター所長感謝状授与を行うとともに、北海道警察音楽隊・カラーガード隊等各団体から演奏を行った。	血液製剤適正使用研修会	道内の血液製剤の適正使用を二層層とし、国内自治体の早期達成を図ることを目的として、医療関係者を対象とした研修会を開催している。
				10月	ラジオ番組「空制放送」とらなげっし	ラジオ番組「空制放送」とらなげっし、若年層を対象とし献血に対する啓発を実施するとともに、約1ヶ月間にわたり、ラジオCMを放送する。		
2	青森県	献血推進啓発事業	献血推進啓発事業(テレビ・ラジオ・ポスター・CM、電光掲示板、バス広告、若年層用パンフレット作成、キャラクター商品作成)	8月	献血感謝の集い	厚生労働大臣表彰状の伝達・青森県知事感謝状の贈呈、日赤有功者の伝達、献血に関するパネルディスカッションを行う。	輸血療法委員会合同会議	前年度の血液製剤使用量が100本以上の医療機関の関係者により、情報交換を行った。
3	岩手県	献血推進専門員制度	献血推進専門員制度(地域で専門的に多様な献血推進活動を展開)	7月	知事及び日赤支部長感謝状贈呈式等	献血推進協方面体等に対し、知事及び日赤支部長感謝状を贈呈する。併せて、厚生労働大臣表彰状及び感謝状を伝達する。	血液製剤使用適正化推進委員会等	血液製剤の使用指針等使用適正化方針の検討、医療機関等への啓発資料の配付。
4	宮城県	21世紀献血推進啓発普及事業	21世紀献血推進啓発普及事業(県の献血キャラクター「Heartちゃん」を使って15秒間のテレビスポットを実施) 献血者増加促進事業(県産地産物産出特別基金事業に基づき、(1)事業所、学校等に対する啓発広報、(2)献血量顕著者に対する献血感謝状、(3)比重不足献血申込者に対する血液検査及び栄養指導を実施)	6~7月	「Heartちゃんの愛の献血70秒ストーリー」発表	献血(または輸血)に関係したショートストーリーを募集し、優秀作品を表彰することで献血の普及啓発を行う。また、募集は作品の作成及び優秀作品を使用した広報を行う。	血液製剤使用適正化説明会	医療機関を対象とした適正使用説明会を開催した。平成15年度は「血液製剤使用適正化」安全な血液製剤の供給
				11月	「献血者に感謝する集い」	厚生労働大臣表彰状・感謝状の伝達、青森県献血推進協議会長表彰の贈呈を行い、医療機関の代表者から献血者への感謝の言葉と献血の意義について語っていただく。		
5	秋田県	ふれあい献血キャンペーン	ふれあい献血キャンペーン(若年層を対象に、高校生からの献血メッセージを献血カードに添付しホームページの周知を図り、献血情報を発信するキャンペーンを実施した。)	通年	ふれあい献血キャンペーン	実施場所については、各保健所のホームページをご覧ください。	秋田県血液療法委員会合同会議	研修事業及び血液製剤使用状況調査を実施している。
6	山形県	ヤング・ブラッド・キャンペーン	ヤング・ブラッド・キャンペーン(若年層を対象に、高校生からの献血メッセージを献血カードに添付しホームページの周知を図り、献血情報を発信するキャンペーンを実施した。)	7月	献血キャラバン	学生献血推進員、高校生のボランティアが市町村を訪問するほか街頭で献血を呼びかけます。	血液製剤使用適正化推進事業	山形県血液製剤使用適正化推進検討会の開催により、適正使用普及啓発カードを作成し、医療等に配布した。
7	福島県	ヤング21	ヤングボランティア団体の活動支援、育成を行うことで献血への参加を推進する。	7月1日~7月31日	夏の血液助け合い運動	各市との共催による街頭献血キャンペーンを開催した。	血液製剤適正化普及事業	血液製剤使用に係る懇親会の開催(年2回)
				1月~2月 冬季	わたしの献血キャンペーン	各市町村との連携により、ポスター等の配布及び街頭献血キャンペーンを開催する。		血液製剤使用指針等説明会及び自己血輸血講習会の開催(各年1回)
8	茨城県	献血制度推進事業	県庁及び関係機関と連携し、夏の血液助け合い運動や献血推進協議会などの開催を行った。	秋頃	献血キャンペーン	血液製剤適正使用懇親会 血液製剤適正使用説明会		
9	栃木県	献血推進事業	県庁及び関係機関と連携し、夏の血液助け合い運動や献血推進協議会などの開催を行った。	6月	県民の日			
				7月	献血の労働者表彰式			
10	群馬県	献血制度推進 献血普及啓発	献血推進に関する啓発 献血推進に関する啓発	8月 1月	第20回群馬県献血推進大会 草創1年「わたしの献血」献血キャンペーン			
11	埼玉県	計画献血者確保対策事業 血液対策推進 血液センター施設補助	県民の医療に必要な血液製剤の安定供給を促進する。 市町村及び関係機関と連携し、夏の血液助け合い運動や献血推進協議会などの開催を行った。	6月8日	第35回形の園さいたま夏の血液助け合いの集い	献血功労者等の表彰、ポスターコンクール優秀作品表彰、体験啓発		
				12月23日	クリスマス献血キャンペーン2004	献血功労者等の表彰、ポスターコンクール優秀作品表彰、体験啓発		
12	千葉県	若年層献血啓発事業 献血功労者表彰事業	・高校生献血啓発啓発作品を用いたバス車体ラッピング広告、JF中吊り広告、東成建設店広告及びフリーフレットの作成 ・情報誌(千葉ウォーカー)への献血啓発広告 献血推進事業の功労者(個人・団体等)に対する表彰式	7月1日~31日	「夏の血液助け合い運動」及びこの運動に伴う街頭キャンペーン	JF千葉駅前でのキャンペーンの実施	血液製剤使用に係る懇親会	血液製剤の供給状況などを踏まえ、血液製剤適正使用の取組について協議を行った。(9月8日)
				7月3日	千葉県献血感謝の集い	献血功労者等表彰、授賞	血液製剤使用に係る個別病院説明会	血液製剤の使用量が多い病院に懇談会の委員が出向いて、個別説明会を実施し、血液製剤の適正使用についての理解の促進を図る。(1月及び2月に2病院に対し実施)
				10月20日				
13	東京都	献血推進員制度 補助	千葉県赤十字血液センターの献血推進員制度事業に対する補助	1月1日~2月28日	「わたしの献血」及びこれに伴う街頭キャンペーン	大塚ショッピングセンターでのキャンペーンの実施		
				1月16日				
13	東京都	普及啓発事業 献血者確保支援事業 血液センター施設補助 等補助	(高校生対象)普及啓発事業用小冊子「血液のこと、知っていますか?」の作成・配布 (優良等対象)日赤東京都支部が冬場キャンペーン用に作り型紙を配布した。また、(主)に若年層(若年層)日赤東京都支部が若年層献血推進事業に賛同する若年層の啓発の一助を補助。 (主)に若年層(若年層)日赤東京都支部が若年層献血推進事業に賛同する若年層の啓発の一助を補助。 (日赤東京都支部)血液の安全が安定供給の確保のため、血液センターや献血ルーム等の展開に要する経費の補助					

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定		血液製剤使用適正化推進事業		
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要
14	神奈川県	専らかながわ献血キャンペーン	新社会人及び新大学生等を中心に、広く県民に献血思想の普及を図るとともに、400ml献血・成分献血への一層の理解と協力を求める	11月	献血推進功労者表彰式	献血の推進の功績のあった団体・個人に対して、日赤県支部との共催で表彰式を開催し、厚生労働大臣表彰の伝達、県知事表彰、日本赤十字社表彰の贈呈を行う。また、小中学生を対象とした「献血の魂」ポスター展の入賞者を併せて表彰する。	血液製剤の使用適正化推進事業	医療従事者を対象として、血液製剤使用適正化に関する学術講演会や血液事業の現状報告を行う。
		専らかながわ献血キャンペーン 「献血の魂」ポスター展 高校生献血思想普及啓発事業 献血制度推進特別事業	400ml献血・成分献血を中心とした献血思想の一層の普及を図るとともに、医療機関等に対して血液製剤の一層の理解と協力を求める。県内の小中学生から献血をテーマにしたポスター展を開催する。また、献血啓発作品を募集し、神奈川県献血推進功労者表彰式において、表彰を行う。献血可能年齢に達する高校生に対して、献血への関心と理解を深めることを目的として、リーフレット及びグッズを作成配布し、献血意識の向上を図る。 「献血感謝のつどい」開催(献血功労者表彰等) 「献血PR/ポスターデザインコンテスト及び最優秀作品によるバス広告」 「若年層向けのパンフレットの作成」	年度中	「献血の魂」ポスター展	県内の小中学生を対象に募集した「献血の魂」の中から選ばれた優秀な作品を展覧する。		
15	新潟県	献血制度推進特別事業	(県民一般)献血推進講座の募集し、入選者を表彰する。 (新成人)各市町村の新成人式会場において献血啓発用資料を配布する。 (高校生)基芸交通機関において県内中乗り広告をずる。	7月31日 12月	新潟県献血感謝のつどい 別荘交遊会(献血呼びかけキャンペーン「あなたに愛を！」)	献血推進団体に、行政関係者 などの高校生インテリアグループが企画して高校生主体の献血呼びかけ奉仕活動を展開(年次年初の血液不足解消のため) ・呼びかけコンサートの実施 ・アラシ、PR札の配布 等		
16	富山県	献血制度推進特別事業	(県民一般)献血推進講座の募集し、入選者を表彰する。	8月24日～8月26日	献血推進講座	最優秀作品応募者は7月下旬の献血推進富山大会で表彰する。	富山県輸血懇話会業務連絡会	日程:平成16年8月20日 場所:富山県赤十字血液センター 内容:血液事業の現状について 改正製剤法と血液新法について 各医療機関の輸血業務について (事例紹介)
			(新成人)各市町村の新成人式会場において献血啓発用資料を配布する。	7月下旬	献血推進富山大会	厚生労働大臣の表彰状・感謝状伝達 ・富山県知事感謝状贈呈 ・特別講演 他	富山県輸血懇話会学術講演会	日程:平成16年10月16日 場所:ポルファートやま 演題:血液新法と適正輸血 一特に新鮮凍結血漿を中心として (愛知医科大学 高木先生)
			(高校生)基芸交通機関において県内中乗り広告をずる。	11月10日(予定)	成人式における啓発資料の配布	「はたちの献血」キャンペーン推進事業 ・献血啓発用資料を新成人に対し配布する。	医師等に対する説明会	日程:平成16年10/14、11/2 平成16年2/20、3/6(計4回) 場所:富山県医師会館 講師:富山県医師会役員
		献血推進事業	(献血者)献血記念品を贈呈する。	11月～2月(予定)	公共交通機関における県内中乗り広告	「はたちの献血」キャンペーン推進事業 ・献血啓発用ポスターを県内市町村(JR電車、私鉄電車、バス)広告にする。	富山県輸血懇話会 担当医師連絡会	日程:平成16年2月26日 場所:富山県赤十字血液センター 内容:平成16年度血液事業の現状・輸血用血液製剤の適正使用について・改正製剤法に伴う医療機関の対応について・輸血療法委員会での活動報告
17	石川県		(献血功労者)献血に協力していただいた団体・個人を献血推進富山大会で表彰する。	11月下旬	献血PR「エコーはがき」の発送	「はたちの献血」キャンペーン推進事業 ・献血PR「エコーはがき」15万枚を県内の郵便局で発送する。 県内中等学校生徒を対象	説明会	第6回石川県輸血懇話会 日時:平成16年4月19日 場所:金沢都ホテル 講演:「MRSとVRE感染への予防と対策 講演:天童大学医学部付属順天堂医院 臨床検査科主任 小原豊子 「自己骨髄細胞移植による血管再生療法」 自治医科大学付属病院 循環器内科 池田博一 医師等
				7～10月	献血ポスターコンクール			
				7月22日	献血優良団体等に対する知事感謝状贈呈	献血優良団体「7団体、献血推進功労者」1団体、献血優良個人(800献血) 11名、献血自備達成市町村 27市町村	血液製剤使用適正化協議会	日時:平成16年3月15日 場所:石川県庁9階901会議室 出席者:県内5医療機関、医師会、病院薬剤師会、血液センター、行政(代表9名) 議題:(1)血液製剤の適正使用の推進及び安全性確保の対策の推進について、(2)献血等の状況について、(3)平成16年度血液製剤供給状況及び平成16年度血液製剤供給計画並びに血液製剤の安定供給について、(4)血液製剤の使用状況調査の結果について、(5)血液製剤使用の現状と問題点について
				6月下旬～11月下旬	大学学術系各場での献血キャンペーンの実施	県内大学35所予定	血液製剤使用状況調査	平成11年6月に策定された「血液製剤の使用指針」及び「輸血療法の実施に関する指針」の各医療機関における取組状況を把握し、今後の血液製剤の適正使用をより推進するため方策検討の基礎資料を得るため、各医療機関の血液製剤の使用状況についてアンケート調査を実施。
		12月中旬 12月中旬～1月中旬 2月予定	献血ポスターコンクール入賞者表彰式 献血ポスターコンクール入賞作品展覧会					

都道府県献血推進情報一覧(平成16年12月28日現在)

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業		
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要	
18	福井県	成分献血推進事業	成分献血協力者の確保	7月	夏の献血助け合い運動	献血推進活動キャンペーンを実施し、献血意思の普及啓発を図る。	血液製剤使用適正化普及事業	福井県輸血協会との関係 血液製剤使用適正化普及説明会の開催	
		献血啓発活動	献血センター施設見学を実施	7月～8月	夏の献血キャンペーン	血液センターにおいて、車中の成分献血者確保のためキャンペーンを実施し、献血者数を増やす。			
				7月～8月	サマー献血キャンペーン	学生通塾による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対して献血意思の普及啓発を図る。			
				11月	福井県献血感謝会	各医療機関の輸血医・看護師等及び行政関係者を対象とした輸血療法及び輸血業務(血液製剤の適正使用)に係る講演会を開催する。			
				12月	卒業・卒業生献血キャンペーン	各医療機関の輸血医・看護師等及び行政関係者を対象とした輸血療法及び輸血業務(血液製剤の適正使用)に係る講演会を開催する。			
				12月	クリスマス献血キャンペーン	学生通塾による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対して献血意思の普及啓発を図る。			
				1月～12月	はたちの献血キャンペーン	成人式会場において街頭キャンペーンを実施するなど、特に新成人を対象に献血啓発の普及を図る。			
3月～4月	春の献血キャンペーン	若年層に対して献血意思の普及啓発を図る。							
19	山梨県	献血推進計画の策定及び周知	計画の策定 担当者会議の開催	7月	夏の献血助け合い運動	街頭キャンペーンの実施 献血啓発DVDの放映 ポスター・啓発物品の配布 献血切符の表裏等	血液製剤の使用に係る懇談会	・輸血療法の院内基準、自己血輸血、血液製剤の適正使用等について検討(H15年度:2回開催)	
		献血意思の普及啓発	キャンペーンの実施 TVCMの放映 ・中学3年生への啓発物品配布	8月	新22回山梨県献血推進大会		血液製剤使用適正化説明会	医療従事者を対象とした適正使用についての説明(H15年度:3回開催)	
		献血地域キャンペーン	・モリノ市町村における献血啓発活動	1月～2月	はたちの献血キャンペーン	・新成人、若年層を主な対象とした献血啓発活動 ・街頭キャンペーンの実施 ・ポスター、啓発物品の配布	三次医療圏の中核病院を対象とした個別説明会	・中核病院の医療関係者を対象とした適正使用についての説明(H15年度:4回開催)	
		献血者登録制度の推進	・献血者の登録 ・緊急時の協力依頼						
20	長野県	献血ルーム体験運動	献血ルーム2ヶ所、3日間ずつ、デパートなどに臨時の献血所を設置し、献血未経験者や若年層等多くの方に献血を体験していただくとともに、献血への理解を深めていただく。	7月 10月・11月	献血ルーム体験運動	デパート等の催事場に臨時の献血所を3日間設置する。	信州輸血療法セミナー	血液製剤の適正使用の推進を図るため、医療関係者の県内の献血状況の説明、血液製剤の適正使用、管理等について説明を行い、血液製剤の適正使用を図る。	
		カウチ献血所開設献血運動	献血所毎に(県内10ヶ所)カウチ献血所を設置する際に、献血のPRを行うとともに、移動献血車を配備し、献血に結びつく啓発を行う。	年内	カウチ献血所開設献血運動	献血所毎に前倒りするカウチ献血所において、献血のPRを行うとともに、移動献血車を配備し、献血に結びつく啓発を行う。	医療監視	血液製剤を通じて、医療関係者(特に責任者)に対し、血液製剤の適正使用、管理等について説明を行い、血液製剤の適正使用を図る。	
		キャンプ啓発運動	県内の全キャンプに献血啓発ポスターを配布し、献血への理解を深めていただく。	10月・11月	「秋の献血推進運動」街頭啓発	献血所毎に、全県域等において、献血のPRを行う。			
		献血推進ポスター	献血推進ポスターへの企画制作を通じ、献血への理解を深めていただく。	2月上旬	キャンプ献血運動	啓発が実施するキャンプ場において、献血のPRを行うとともに、移動献血車を配備する。			
21	岐阜県	愛の献血メッセージ募集	献血に対する感謝の気持ち、献血に協力する喜びの気持ちなど100文字程度でメッセージを募集する。	8月	岐阜県赤十字血液センター献血者300万人突破	300万人突破キャンペーンを行う。	血液製剤使用適正化推進事業	血液製剤使用適正化説明会・血液製剤使用適正化懇談会	
		献血啓発活動	献血啓発活動	10月	献血感謝のつどい	街かどふれあい献血、啓発活動			
				10月	献血ボランティアサミット	ボランティア団体と行政、センターとの意見交換			
				12月	卒業生献血の助け合い運動	血液が卒業する卒業生施設に配布し、キャンペーンを行う			
				1月	はたちの献血	若年層を対象にキャンペーンを行う			
22	静岡県	「アボちゃんサポーター」による広報	高校生を献血正副ボランティア(アボちゃんサポーター)として募集。地域、学校での献血啓発の普及活動を実施し、FMによるラジオ広報の発信、ラジオ番組(献血情報コーナー)の設置						
		若年層対策事業	若年層向けパンフレットを作成し、県内の高校2年生や新成人、大学生を対象に配布する。またシャープペンシルを作成し、成人式、大学祭等のイベントに配布し、若年層への啓発を図る。	7月2日	担当委員会	市町村議員の知識・意欲の向上	血液製剤使用適正化普及事業	血液製剤使用に係る懇談会 年1回開催 血液製剤使用適正化に関する講習会 年1回開催	
23	愛知県	献血活動市町村支援事業	啓発資料としてチラシ、謝辞書を作成し、献血の血液助け合い運動を中心とし、保健所と市町村が連携し街頭活動や地域の健康祭等を活用し啓発を図る。	7月30日	認知献血推進推進大会	知事感謝状の奉呈・講演			
		献血推進ボランティア育成事業	献血ボランティア団体(ボランティア)を育成し、ボランティアを主体として配布する。また、献血推進リーダー研修会を開催して育成を図る。	12月10日	学生別スラム献血キャンペーン	愛知県学生献血推進の主導で開催される「学生別スラム献血キャンペーン2004」とタイアップし、若年層を中心とした啓発活動を行う。			
		献血推進担当若手研修会	県内における献血推進事業の円滑化を図り、担当職員や若手職員を育成し、市町村職員を対象に研修会を開催する。						
24	三重県	ラジオ番組による献血意思の普及啓発	1. 放送内容 献血意識普及啓発ラジオ番組「ドナインフォメーション」 2. 放送形式 生放送(5分間) 3. 放送日時 毎週火、木曜日(1年間) 4. ラジオ局 FM三重	7月～8月	夏の献血助け合い運動	市町村及び協力団体との協力で、献血ボランティア及び献血者数を増やして献血推進を図る。	血液製剤使用適正化事業	血液製剤の適正な使用を推進するために三重県輸血療法委員会協議会及び部会を設置し、今後の使用適正化方針等について協議・検討するとともに、研修会、講習会を開催した。また、医療機関にアンケートを実施し、現在の状況の把握に努めるとともに、「輸血療法マニュアル」を作成し県内医療機関に配布した。	
		高校生に対する献血意思の普及啓発	献血啓発活動に参加していた献血ボランティアを「ラジオドナサポーター」として広く高校生等から募集、奨励し、ボランティアとしての活動をおこなって、献血を奨励していただく。	12月～2月	ラジオドナ献血キャンペーン	血液が卒業しつちな卒業生の献血推進対策として、ラジオドナサポーターの協力を得て、キャンペーンを行い、献血推進を図る。			
		はたちの献血キャンペーン	若人に対する献血意思の普及啓発の機会を捉え、若年層を対象とした献血のPRを行う。	4月～3月	ラジオ番組による献血意思の普及啓発	啓発を中心とした献血のイメージアップを図るために献血に関する情報提供を行う。			
		献血者登録制度の推進	安全で良質な血液製剤を安定供給しうる体制を確立するため、献血者登録者の増加を図りました。		HPを活用した献血推進事業	献血HPを作成して、献血についての普及啓発活動の啓発を呼びかけている。			

都道府県献血推進情報一覧(平成16年12月28日現在)

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業	
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要
25	滋賀県	普及啓発活動	モデル校において献血学習事業を実施した。	8月 12月 1月～2月	サマー献血 クリスマス献血キャンペーン はたもの献血キャンペーン	・献血献血 ・献血啓発 ・献血献血 ・ミニコンサート、記念写真撮影、風船プレゼント等 ・成人式前自費献血の作成(県)、配布(市町村) ・献血啓発、啓蒙活動	血液製剤使用適正化説明会の開催	
26	京都府	夏の血液助け合い運動 はたもの献血キャンペーン	血液製剤の国内産産を目指し、啓発を実施 はたもの啓発を中心に血液製剤の国内産産を目指し啓発を実施	7月～8月 7月10日 10月頃 12月下旬 1月～2月 2月上旬	夏の血液助け合い運動 夏の献血キャンペーン 献血推進協関係年表発表式 クリスマス献血キャンペーン はたもの献血キャンペーン はたもの献血キャンペーン はたもの献血キャンペーン	夏の血液助け合い運動 血液製剤の国内産産を目指し、啓発を実施 学生献血推進協議会が主催し京都府前で献血を呼びかけ 献血推進協議会が主催し京都府前で献血を呼びかけ 学生献血推進協議会が主催しクリスマスにもなんだ献血で啓蒙を実施 はたもの啓発を中心に血液製剤の国内産産を目指し啓発を実施 学生献血推進協議会が主催し京都府前で献血を呼びかけ	病院を対象に血液製剤の使用適正化を普及するため講演会を実施	
27	大阪府	献血作品募集(えんやん献血ストーリー大募集) 大阪府献血推進協議会	献血等を通じて感動した話などを30字以内の文章で募集し、最優秀作品をラジオCM化してオンエアした 行旅、歴史、血液事業普及及び献血協関係の各関係者を対象とし、大阪府献血推進計画を審議のうえ、策定した	7月 12月 12月	知事感謝状贈呈式 大阪府献血推進月例 献血感謝のつどい	献血推進に特に功績のあった府長(個人・団体)に対し、感謝状を贈呈する 冬場の献血者減少に向け、献血推進キャンペーンを府内全域で展開する 献血推進に積極的である府民を招き、献血作品募集事業の表彰や講演会等を実施する	輸血療法委員会委員長会議 大阪府血液対策懇談会	府内各医療機関に設置された輸血療法委員会の活性化を図るため、血液管理センター見学・講演会及び意見交換会を開催した 献血の推進と血液製剤の使用適正化方策等について幅広く意見を求めるため開催
28	兵庫県	小・中学生献血学習事業 高校生ボランティア「献血啓発サポーター」事業 学生ボランティア「献血推進イベント」事業	県で作成した小・中学生向け献血啓発冊子を配布し、総合学習や保健体育、理科等の授業の題材として「献血」を取り上げる。 県民の参加と協働の推進に際しては、高校生有志を有志から「献血啓発サポーター」に委嘱し、校内行事等の機会に献血啓発活動を実施する。 献血推進協議会に依頼し、学生ボランティアと県との共同実施により、市民イベント等の場を活用した献血啓発活動を実施する。	通年 8月 8月 10月 12月 1月	高校生ボランティア「献血啓発サポーター」事業 献血サマーキャンペーン 献血活動感謝のつどい 献血ふれあいヤングラズエスリアル 献血クリスマスキャンペーン 献血・演劇大賞授賞式10周年記念献血推進イベント	高校生ボランティア「献血啓発サポーター」に委嘱し、校内行事等の機会に献血啓発活動を実施する。 県民の参加と協働の推進に際しては、高校生有志を有志から「献血啓発サポーター」に委嘱し、校内行事等の機会に献血啓発活動を実施する。 学生ボランティア「献血推進イベント」に依頼し、学生ボランティアと県との共同実施により、市民イベント等の場を活用した献血啓発活動を実施する。 ふれあいの祭典企画イベントにあわせて、警察ライブ等を支援する形で献血の理解と協力を呼びかける。また、本フェスティバルの模様を、KBS-FMに放送し、公開録音する。 献血推進協議会に依頼し、学生ボランティアが中心となり、主要駅前等において、学生の創意工夫を活かした献血啓発活動を実施する。 県民・演劇大賞授賞式10周年記念事業の一環として、命の尊さや助け合いの精神等を再確認するものとして「献血」の普及啓発を実施する。	血液製剤使用適正化説明会 輸血療法委員会合同会議 輸血療法の実施体制等に関する調査	県医師会の協力を得て、県内医師会会員に対し、説明会を開催(約900名参加) 県内の輸血療法委員会設置病院の同委員会委員長と血液センター、県医師会の合同委員会を開催、輸血療法の実施体制の在り方、血液製剤の適正使用推進方策等について協議を行う。(約100名参加) 県内の実情にあった輸血療法の実施体制の在り方等に関する検討の基礎資料を得るため、輸血療法の実施体制及び血液製剤の使用量等に関するアンケート調査を行う。(調査対象:322病院、201診療所)
29	奈良県	400ml献血・成分献血啓蒙活動推進委員会等事業	400ml献血・成分献血について県民に広く啓蒙を行う 高校生をはじめ若年層の啓蒙活動を強化する	7～8月 1～2月 4～7月 8月	夏の血液助け合い運動 はたもの献血キャンペーン 献血活動推進ポスターを募集する 献血活動推進ポスター	県下市町村でキャンペーンを行う 県下市町村でキャンペーンを行う 献血活動推進ポスターを募集する 献血に功績のあった者を表彰する		
30	和歌山県	献血推進対策事業	・献血意思の普及向上 ・成分献血に関する知識の啓蒙	7月 7月10日 7月29日 1月～2月	街頭啓蒙 街頭啓蒙 献血協力者表彰式 献血参加	各地区献血推進協議会主催により7月の推進月間中に各地で街頭啓蒙を推進する 県主催でボランティア団体の協力を得て街頭啓蒙を行う 県主催でボランティア団体の協力を得て街頭啓蒙を行う 県主催でボランティア団体の協力を得て街頭啓蒙を行う 成人式前等において「はたもの献血」啓蒙活動を実施する		
31	鳥取県	献血推進員設置委員等事業 若年層献血推進委員会等事業	県内に3名の推進員を設置し、事業所等への新規開拓、目標調整など計画的な献血実施を図る。 高校生による街頭キャンペーン	7月29日～9月7月 1月7日～14日	夏の血液助け合い運動キャンペーン はたもの献血キャンペーン	街頭献血キャンペーン(高校生ボランティアによる献血の呼びかけ) 大卒キャンペーン(献血)	血液製剤使用適正化普及事業 二時医療圏での懇談会の開催、医療関係者への説明会の開催	
32	島根県	高校生ふれあいキャンペーン 高校生献血サマニースクール 成分献血推進キャンペーン	献血に関するリーフレットを県内の全高校生を対象に配布し、献血に関するメッセージを募集する。 献血学習会および血液センター見学会を実施する。 成分献血量採集の確保を図るため、キャンペーン実施費を県費とし、成分献血の啓蒙を図る。				血液製剤使用適正化普及事業 血液成分製剤使用削減調査	二時医療圏の中核病院を対象とした個別説明会を開催する。 県内の全病院を対象に血液製剤を適切に血液製剤因子製剤及びアルブミン製剤の使用量を調査。
33	岡山県	岡山県夏の血液助け合い運動	全国的には7月の1か月間の実施とされている「夏の血液助け合い運動」を7月から8月の2か月間とし、夏場の血液不足の解消に努めている。主な事業として、7月1日「月間初日事業」としてオープニングセレモニー及びキャパパン「献血」を推進する。また、8月上旬、「献血感謝のつどい」として更生労働大賞授賞式等の伝達、県知事表彰状等の贈呈、講演	7月1日 8月6日	岡山県夏の血液助け合い運動 月間初日事業 献血感謝のつどい	謝辞、岡山県医師会、岡山県教育委員会、岡山県赤十字看護専門学校校長等の参加により、オープニングセレモニー及びキャパパン「献血」を推進する。また、8月上旬、「献血感謝のつどい」として更生労働大賞授賞式等の伝達、県知事表彰状等の贈呈、講演を行う。 岡山県血液センター所長の感謝状を贈呈するとともに、記念講演を行う。	岡山県輸血研究会・血液製剤使用適正化普及委員会合同説明会 血液製剤使用適正化個別説明会	岡山県輸血研究会と合同で、説明会を開催して、県内の医療関係者等に、平成11年8月厚生省より発出された指針についての説明を行う。 血液製剤の使用量が多い病院に適正化普及委員会の委員、赤十字血液センター、県医師会安全課の職員が出向いて、個別説明会を実施し、血液製剤の適正使用についての理解の浸透を図る。

都道府県献血推進情報一覧(平成16年12月28日現在)

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業		
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要	
34	広島県	広島県献血推進ポスター募集	献血推進ポスターの募集を募集し、その際優秀作品を基に献血の普及・啓発用ポスターを作成する。	3月～6月	平成16年度広島県献血推進ポスター募集	県内の中学校、高等学校及び盲、ろう、養護学校のせいどのみなさんを対象に、献血推進ポスターの募集を募集する。	広島県血液製剤使用に係る懇談会 輸血療法に関するシンポジウム	昨年度の事業を報告するとともに、血液製剤使用適正化の推進に係る今後の活動(シンポジウムの開催等)について検討。 「血液及び血液成分製剤の安全性確保対策」「血液成分製剤の使い方」「医療機関と改正薬事法」の3題について講演、及び出席者等との総合討論会を開催した。	
		夏の血液助け合い運動	7月を1夏の血液助け合い運動(月間)とし、テレビや新聞等各種広報媒体を使って、県民に広く献血を呼びかけるとともに、広島県献血推進大会を開催し、広島県内の献血推進に功労のあった方々や、広島県献血推進ポスター入賞者の表彰等を行っている。	8月	「岡山県産の血液助け合い運動」月間初日事業2004ひろしまフアワーフェスティバル」での献血推進パレード	ラウンジフェスティバルのバリエーションの参加し、1ひとり二人のやさしさ、思いやりによる献血が人の命を救うこと」をたくさんの人々に呼びかけることにより、献血への理解と協力を図る。			
		はたちの献血キャンペーン	新たに成人式を迎えるはたちの若者を対象に、献血を呼びかけるチラシを作成し、県内全域に配布する。	7月	平成16年度広島県献血推進大会	広島県内の献血推進に功労があった方々へ表彰状・感謝状の贈呈・催進及び広島県献血推進ポスター入賞者の表彰などを行い、県内の献血推進運動を盛り上げる。			
		市町村献血推進運動委員会 市町村献血推進協議会 市町村献血推進協議会運営費補助金	県内の献血状況等調査機関の情報の共有化を図り、連携を密にし計画的な献血の推進を図る。 各市町村献血推進協議会に対して補助金を交付し、その運営を支援する。	7月 7月 12月 1月、2月 1月～3月	夏の血液助け合い運動月間啓発活動 学生クリスマス献血キャンペーン はたちの献血キャンペーン 成分献血体験キャンペーン(若者限定)	広島県内2箇所で開催啓発を行い、等が長い運動を盛り上げる。 イベント会場において、話さずクリスマスカードの配布、パレードなどを開催し、献血への協力を呼びかける。 新たに成人式を迎えるはたちの若者を対象に、各種広報を通じて献血を呼びかける。 献血推進者の募集、新献血者の確保、献血届書の浸透及び、固定献血者の増加を目的として、各献血ルームごとにその特色に応じたイベント等を開催する。			
		献血推進啓発普及事業	ポスター、作文募集及び献血検本の作成配布、献血アンケート調査及び400ml、成分献血の依頼	7月～8月	夏の血液製剤使用適正化献血キャンペーン	献血員有配付、献血コーナー、集資相談等(県内15ヵ所で開催)			血液製剤使用に関する懇談会及び輸血療法委員会合同委員会の開催により使用適正化を推進
35	山口県	献血推進事業	献血功労者表彰、献血担当者研修会の開催、献血推進協議会の開催、計画課血の賞励、各種キャンペーンの賞励	11月頃	献血フェスティバルの開催	献血フェスティバルの開催	献血功労者表彰、献血各種コーナーを設け、多くの県民が参加できるイベントを予定している。	血液製剤使用適正化普及事業	医療機関に対する血液製剤使用指針等の説明会(各医師会単位・個別病院での説明会の開催)を予定している。
		献血推進特別事業 1. 若年者対象事業 2. 献血イベント開催事業 3. 成分献血・400ml献血推進事業 4. 成分献血推進事業	中・高校生に対する啓発(ビラ)作成、配布、中・高校生を対象とした献血推進のポスターを募集及び作品展の作成 献血のイベントを開催し、広く県民に献血恩恵の普及を訴える						
36	徳島県	献血推進啓発普及事業	献血大会の開催等	7月10日	一日所長行事	血液センター一日所長行事、街頭キャンペーン			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月27日	献血大会	献血大会			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	8月7日	市民献血の日	市民献血の日			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	8月中旬	学生キャンペーン	学生キャンペーン			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	12月中旬	献血キャンペーン	献血キャンペーン			
37	香川県	献血推進啓発普及事業	献血大会の開催等	7月20日～8月4日	小学生親子血液センター見学体験教室	小学生親子血液センター見学体験教室	県内8地方局ごとに、小学校6・8年生及びその保護者16組30名、合計180名を募集する。 ・血液センター及び献血ルームの施設見学 ・献血に関する説明 ・献血キャラクター「あいびー」との献血呼び込み体験・写真撮影 など	血液製剤適正化使用懇談会の開催	県内の二次医療圏における血液製剤の使用についての問題点を整理・検討し、血液製剤の適正使用推進を図ることを目的として、県内の有識者8名からなる懇談会を開催する。平成16年度は、県内主要医療機関に対するアンケート調査を実施し、その結果を検討して、効果的な普及啓発の方法を協議することとしている。
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月～8月	夏の血液助け合い運動	夏の血液助け合い運動	水戸川等のサーベイス、松山五福小学校児童「献血ルーム一日所長」、かき氷のサーベイス 献血功労者への知事感謝状の贈呈	輸血に携わる医療従事者がよりよい輸血医療の在り方の認識を深めることにより、県内の医療現場における血液製剤の適正使用のより一層の推進を図るため、県内の輸血に携わる医療従事者を対象とした適正使用に関する講演会を開催する。	
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	1月～2月	はたちの献血キャンペーン	はたちの献血キャンペーン	中瀬サーベイスのサーベイス、おしるこのサーベイス 他 成分献血推進街頭パレードの開催(1/16) 大街道献血ルーム1周年記念キャンペーンの賞励(血液センター主催)		
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月4日	夏の血液助け合い運動月間啓発活動	夏の血液助け合い運動月間啓発活動	夏場における献血者を確保するため、学生ボランティア等の協力を得て、駅前で献血推進運動を推進 高知市主催により普及啓発キャンペーンを実施		
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月29日	献血推進特別事業	献血推進特別事業	献血に対する協力者等を顕えることにより、献血推進の高齢者を増やす 学生ボランティアにより普及啓発キャンペーンを実施		
38	愛媛県	小学生親子血液センター見学体験教室	将来を担う若年者に対する学習型・参加型普及啓発の場として、小学校6・8年生を対象に献血事業の仕組み及び献血が健康の増進を図るボランティア活動であることに対する理解を求めるとともに、小学生の夏休みの自由研究等に応援する	7月20日～8月4日	小学生親子血液センター見学体験教室	小学生親子血液センター見学体験教室	県内の二次医療圏における血液製剤の使用についての問題点を整理・検討し、血液製剤の適正使用推進を図ることを目的として、県内の有識者8名からなる懇談会を開催する。平成16年度は、県内主要医療機関に対するアンケート調査を実施し、その結果を検討して、効果的な普及啓発の方法を協議することとしている。		
		夏の血液助け合い運動	夏場では毎年7～8月を1夏の血液助け合い運動と定め、広く県民各層の間に献血に関する理解と協力を求める	7月～8月	夏の血液助け合い運動	夏の血液助け合い運動	輸血に携わる医療従事者がよりよい輸血医療の在り方の認識を深めることにより、県内の医療現場における血液製剤の適正使用のより一層の推進を図るため、県内の輸血に携わる医療従事者を対象とした適正使用に関する講演会を開催する。		
		はたちの献血キャンペーン	新たに成人式を迎えるはたちの若者を中心として、広く県民各層に対し献血恩恵の普及を図り、冬場における献血者の確保並びに安全な血液の確保の一層の推進を図る	1月～2月	はたちの献血キャンペーン	はたちの献血キャンペーン			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月4日	夏の血液助け合い運動月間啓発活動	夏の血液助け合い運動月間啓発活動			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月29日	献血推進特別事業	献血推進特別事業			
39	高知県	献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月4日	夏の血液助け合い運動月間啓発活動	夏の血液助け合い運動月間啓発活動			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	7月29日	献血推進特別事業	献血推進特別事業			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	8月6日	献血功労者表彰式	献血功労者表彰式			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	12月	クリスマス献血	クリスマス献血			
		献血推進特別事業	献血大会の開催等	1月10日	はたちの献血キャンペーン	はたちの献血キャンペーン			

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業		
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要	
40	福岡県	市町村献血推進関係者並びにライオンズクラブ各町支部、ライオンズクラブ、市区町村生涯課長会、献血推進研究会、献血協力事業所献血者会議	前年度実績を基に概要説明と今年度事業の確立	7月	第36回福岡県献血推進大会	各種表彰、アトラクション	輸血療法委員会合同会議	主な医療機関の医師を対象に、講演やアンケートによる全体討議を行う	
			事例発表を中心とする市町村、ライオンズクラブ間の事例研究を行う	8月	福岡学生献血推進協議会の育成	「学生献血サマセット」の実施予定	輸血担当者会議	医療機関の輸血担当者を対象に講演会を実施	
			事業所における献血者の確保	12月	第17回全国学生クリスマス献血キャンペーン	献血呼びかけ、ラジオ放送	輸血懇話会	血液機関の輸血担当者を対象に講演会を実施	
				1月～2月	平成16年はたもの献血キャンペーン	献血呼びかけ、餅つきなど			
41	佐賀県	献血普及啓発	年間を通じてキャンペーン期間を中心に、ラジオスポット放送やポスターの掲示等により、献血の普及啓発を行っている	6月8日	学生献血推進委員研修会	県民に血液センターを見学してもらうなど、イベントを通じて献血への理解を深めてもらう	血液製剤使用適正化推進事業	血液製剤使用に係る懇談会(医師会、薬剤師会、日赤及び県による意見交換)、二次医療圏の中核病院を対象とした個別説明会、医療関係者を対象とした研修会	
		献血推進組織の育成	献血ボランティア団体に対する研修会を開催している	7月26日	献血賞余り	献血推進活動に積極的に協力し、他の候補となる実績を挙げた団体及び個人に対する表彰状等の贈呈			
42	長崎県	市町村の献血推進活動の支援	電子メール、街歩きによる献血者意識を高め、献血者に対し、住所・勤務先による献血車の運行状況やイベント情報等の告知を行っている	7月	愛の血液助け合い運動	感謝に資する血液製剤の供給を献血により確保する体制を確立し、県下の血液事業の発展を期するため、広く県民各層への献血意思の普及と特に400ml献血及び成分献血に対する理解と協力を求めることを目的として、「愛の血液助け合い運動」実施要領を策定し、県及び日赤県支部が相互に連携した活動を実施しながら両実施要領に基づき実施する。また、平成15年7月に施行された血液新法及び平成16年度長崎県献血推進計画の県民に対する周知を図る。	血液製剤使用に係わる懇談会	地域医療の代表者及び医療機関の管理者等を委員として「血液製剤使用に係わる懇談会」を設置し、二次医療圏における血液製剤の使用についての問題点を整理、検討する。	
		献血者意識制度	安全で高質な血液製剤を安定的に供給する体制を確立させ、400ml献血及び成分献血を強力に推進するため、献血者意識制度推進委員会(委員数6名)献血者意識制度推進員(各市町村職員79名、県職員9名)を設け、各市町村における献血事業の取組状況等について意見及び情報の交換を図り、地域の特性にあった事業の実施に反映させる		第4回長崎県献血感謝の集い	県、血液推進協議会、日赤県支部主催により本運動の啓蒙の一環として開催し、県生野副大臣表彰状・感謝状・県知事表彰状・日赤県支部・日赤県支部長感謝状の授与等を実施する。長崎県赤十字血液センター主催により「日赤県支部交付等のセレモニー、血液センター内巡視、街頭パレード等」を実施する。	血液製剤使用適正化説明会	昭和61年7月「血液事業検討委員会第2次中間報告」に示された血液製剤使用適正化ガイドラインの趣旨及び平成11年6月に策定された「血液製剤の使用指針」、「輸血療法の実施に関する指針」を踏まえ、医師等の医療従事者に対する説明会を実施する。	
		献血推進員募集	献血協力推進員を育成し、献血推進の普及啓発活動により、献血協力団体や献血協力者の育成を図るとともに、骨髄ドナー登録者確保のための啓発活動を行う		献血ルーム「サマセット」2004「あつぱってん献血はじ」	長崎県献血推進センターが主催し、献血者全員に表彰状を贈呈し、若年層を中心に、献血への協力を呼びかけるもの。	血液製剤使用適正化の個別説明会	血液製剤使用に係わる検討委員会の協力により二次医療圏の中核病院を対象とした血液製剤使用適正化の個別説明会を行い、血液製剤の使用のあり方について医療関係者の理解を高める。	
				九州ブロック学生献血サマセット	平成16年11月	長崎県献血推進キャンペーン	次代を担う若年層への献血活動に対する意識の高揚を図るため毎年九州ブロック学生献血推進協議会が主催し、2泊3日でディスカッション、講演会等を行う。県が実施する産業文化祭との同時開催により、全天候型施設内での各種イベント(若年層を対象とした献血自由討論会、献血おもしろクイズ等)を開催し、地域住民に対して献血意思の普及・啓発を図る。		
				全国学生クリスマス献血キャンペーン2004	平成16年12月	「はたもの献血」キャンペーン	若者の献血の理解と活性化を図り、普及効果として献血の量の拡大を目的として長崎県センター管内は長崎県学生献血推進ボランティア連盟が主催、佐世保センター管内は佐世保県学生献血推進協議会が主催し、献血の呼びかけ、記念品の贈呈、アンケートの実施等により献血への参加をお願いする。すべての血液製剤を献血により確保する体制の確立を目指し、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に対し献血意思の普及を図るとともに、特に成分献血、400ml献血への理解と協力を求めることにより、冬季における献血者の確保並びに安全な血液の確保の一層の推進を図る。		
			平成17年1月	成人の日献血	長崎県献血推進センターが主催し、献血者全員に表彰状を贈呈し、若年層を中心に、献血への協力を呼びかけるもの。				
			平成17年2月	若年の献血者確保対策キャンペーン	長崎県献血推進センターが主催し、新成人を対象としたプレゼント、また、献血者全員には抽選により記念品の贈呈等を行うなどして、献血への協力を呼びかけるもの。献血協力者が減少する若年の献血者を確保するとともに、新たな献血協力者の開拓を図り、また、400ml献血、成分献血の推進及び献血協力団体の育成並びに献血意思の普及を目的として、県、日赤県支部、各血液センターが主催して実施する。具体的な内容については、未定。				

都道府県献血推進情報一覧(平成16年12月28日現在)

県No	都道府県	献血推進情報		平成16年度のイベント予定			血液製剤使用適正化推進事業		
		事業名	概要	月日	事項	概要	事業名	概要	
43	熊本県	若年層献血者確保対策事業	①熊本市内の12ヶ所の映画館において献血推進啓発フィルムを上映 ②熊本市内の繁華街に設置されている大型ビジョンでフィルム上映 ③私立大学芸術学部にて上記フィルム作成を委託 繁華街、大商店街等において啓発用パネル展を実施	平成16年7~8月 平成16年12月 平成17年1~2月	夏の献血キャンペーン 学生クリスマスキャンペーン ぼたもの献血キャンペーン	各機関への献血協力依頼 献血呼びかけ 各機関への献血協力依頼	輸血療法委員会等研修 血液製剤使用適正化	医療機関に設置している輸血療法委員会等の研修会に対して研修会を実施 県下4ヶ所所長兼取扱い説明会において血液製剤適正化について説明	
		移動献血ギャラリニ事業 400ml献血・成分献血 血液推進リーダークラス 学生献血協議会	献血者から抽選で15名を北海道の血液成分センターへの派遣、献血推進の一助としてきた 企業・団体に設置した約400名のリーダークラスへの研修会を実施することにより、地域等での献血推進の体を買戻 協議会主催の研修会や大学等での献血キャンペーン実施並びに夏のキャンペーン参加						
44	大分県	献血推進協議会	献血制度の推進、献血目標の承認	平成16年7月	夏の血液助け合い街頭広報	街頭で県民にリーフレット等を配布し、献血思想の普及啓発を行う。	血液製剤使用適正化普及事業	地区別の説明会の開催	
		献血功労者表彰	知事感謝状を贈呈	平成16年7月	第40回献血運動推進全国大会	厚生労働省、日本赤十字社及び大分県が主催し、県内外の約2,000人が参加して、昭和天皇記念献血推進賞等の表彰や体験舞臺等の式典及びアトラクションを開催する。			
		献血推進啓発普及	新規献血者確保のための啓発	平成16年7月	学生献血キャンペーン	献血ふれあい広場や街頭広報を行う。			
		献血推進団体の育成	学生献血推進協議会への運営補助	平成16年12月	学生クリスマスキャンペーン	成人を誘える啓発を街頭で行う。			
		献血推進団体の育成	地区別の説明会の開催	平成17年1月 平成17年3月	ぼたもの献血キャンペーン ニードルフリーキャンペーン	成人を誘える啓発を街頭で行う。 400ml・成分献血の新規献血者募集をポスター等で啓発し、記念品をプレゼント。			
45	宮崎県	宮崎県献血推進協議会設置	血液事業の推進を図るため協議会を設置	平成16年6月	市町村推進員養成講座	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の概要	血液製剤使用適正化に係る懇談会開催等	血液事業の推進状況、平成16年度原料血漿の確保及び血液製剤の使用状況等について懇談会を開催	
		宮崎県献血推進員養成講座	献血事業に積極的に協力いただける方を講師兼献血推進員として活用	平成16年6月	夏休み親子献血教室	小学生とその保護者を対象に献血、血液について教養を開催			
		宮崎県献血推進員等研修事業	血液事業に係る研修会を開催	平成16年10月	宮崎県献血推進員等研修会	宮崎県献血推進員、市町村及び保健所推進員等研修会			
		ひまわり賞の献血運動推進県民大会	献血事業功労者等の表彰、講演及びアトラクション等の大会を開催	平成16年12月	クリスマス献血	クリスマスを中心に街頭キャンペーンを実施			
		ヤング献血キャンペーン事業	若年層を対象とした献血推進テレビCMを制作し放映						
46	鹿児島県	献血推進協議会	献血推進を図るため奨励金を配布 街頭啓発の補助						
		血液対策推進協議会事業	血液対策事業に関する施策の協働かつ計画的な推進を図るため、委員33名により協議を行う	平成16年7月	夏の血液助け合い運動街頭キャンペーン	街頭で県民にリーフレット、ポケットティッシュ等を配布し、献血思想の普及啓発を行う。	輸血医療懇話会	医療関係者を対象に講演会を実施	
		新献血者確保対策事業	献血可能年齢を自前にした年代に献血思想の普及啓発を行い将来の献血者を確保する	平成16年6月	献血功労者表彰	県知事、県議所長感謝状及び記念品の贈呈			
		献血推進事業	献血思想の普及啓発と献血者の継続化を図る	平成16年6月	アロハ献血	指宿市内の観光協会や商工会議所等関係者が中心となって、献血を実施する。			
		献血者登録制度推進事業	安全な血液の確保を図るとともに、血液を安定的に供給しうる体制の確立を図る	平成16年11月	1107MBOラジオDAYキャンペーン	地元ラジオ局と血液センターとの協賛により街頭で献血への呼びかけを行う。			
				平成16年12月	全国学生クリスマスキャンペーン	学生献血推進協議会が中心となり献血会場でのイベントを行う			
				平成17年1月 平成17年2月	ぼたもの献血キャンペーン パレタンの献血	成人を誘える啓発を街頭でリーフレット等を配布し、献血思想の普及啓発を行う。 学生献血推進協議会が中心となり献血会場でのイベントを行う			
市町村血液担当者会議 献血者処遇品	市町村推進員・献血推進員の育成 献血者処遇品のセンターへの補助					血液担当者連絡会議	主要病院血液担当者を対象に、血液製剤使用適正化について、説明会を実施		

※血液製剤調査機構ホームページ「各自治体の献血推進情報」より厚生労働省作成

平成17年度に献血により確保すべき血液の目標量(案)

(単位:L)

NO.	都道府県名	全血献血	成分献血			合計
			血小板	血漿	計	
1	北海道	82,000	14,428	4,595	19,023	101,023
2	青森県	16,678	4,936	4,360	9,296	25,974
3	岩手県	13,600	3,800	3,884	7,684	21,284
4	宮城県	25,956	6,304	5,122	11,426	37,382
5	秋田県	14,040	4,000	1,575	5,575	19,615
6	山形県	12,196	2,436	2,147	4,583	16,779
7	福島県	21,000	4,560	5,023	9,583	30,583
8	茨城県	26,426	6,438	6,836	13,274	39,700
9	栃木県	18,424	4,149	6,081	10,230	28,654
10	群馬県	21,940	5,680	4,094	9,774	31,714
11	埼玉県	53,380	11,060	23,776	34,836	88,216
12	千葉県	55,700	12,520	16,608	29,128	84,828
13	東京都	143,574	41,380	31,631	73,011	216,585
14	神奈川県	74,654	16,888	29,146	46,034	120,688
15	新潟県	23,326	7,012	4,929	11,941	35,267
16	富山県	11,800	3,200	1,620	4,820	16,620
17	石川県	16,000	3,800	3,267	7,067	23,067
18	福井県	9,020	2,880	1,940	4,820	13,840
19	山梨県	8,220	0	4,104	4,104	12,324
20	長野県	21,300	4,800	7,380	12,180	33,480
21	岐阜県	17,100	4,400	9,900	14,300	31,400
22	静岡県	31,700	9,240	12,351	21,591	53,291
23	愛知県	66,188	19,192	20,221	39,413	105,601
24	三重県	14,618	3,480	5,206	8,686	23,304
25	滋賀県	11,240	3,600	5,138	8,738	19,978
26	京都府	30,300	7,400	8,190	15,590	45,890
27	大阪府	106,480	26,560	11,497	38,057	144,537
28	兵庫県	52,736	10,655	12,807	23,462	76,198
29	奈良県	14,400	4,200	3,600	7,800	22,200
30	和歌山県	12,500	2,560	2,701	5,261	17,761
31	鳥取県	6,960	2,080	2,320	4,400	11,360
32	島根県	9,336	2,463	1,842	4,305	13,641
33	岡山県	24,480	6,440	3,080	9,520	34,000
34	広島県	33,754	11,776	6,384	18,160	51,914
35	山口県	17,900	3,360	3,015	6,375	24,275
36	徳島県	9,940	2,200	2,301	4,501	14,441
37	香川県	12,520	2,840	2,025	4,865	17,385
38	愛媛県	18,200	3,506	3,766	7,272	25,472
39	高知県	10,000	2,040	3,002	5,042	15,042
40	福岡県	53,422	12,221	8,888	21,109	74,531
41	佐賀県	8,200	1,320	2,362	3,682	11,882
42	長崎県	16,960	3,520	3,555	7,075	24,035
43	熊本県	24,400	5,200	3,738	8,938	33,338
44	大分県	14,300	3,001	2,198	5,199	19,499
45	宮崎県	13,600	3,240	2,700	5,940	19,540
46	鹿児島県	22,518	3,796	2,198	5,994	28,512
47	沖縄県	14,900	2,456	4,208	6,664	21,564
	計	1,337,886	323,017	317,311	640,328	1,978,214

※ 山梨県の血小板成分献血目標量については、血小板製剤製造が東京都において行われているため、東京都にあわせて計上している。